

令和2年2月末現在

第378号

安全・安心なまちづくり

地区防犯協会・ボランティア団体の活動紹介



都路すずらん隊(田村市)



都路すずらん隊は、犯罪の未然防止や青少年の健全育成を目的に、平成17年に都路町の有志により結成された防犯ボランティア団体です。すずらんは、都路町に群生する町を代表する花で当団体の名前の由来となっています。子どもの見守り活動や安全パトロールなどを積極的に実施しているほか、令和元年からは、一人暮らしの高齢者宅訪問活動を始め、地域住民とふれあいながらなりすまし詐欺被害や交通事故等の被害防止について助言し、地域の安全と安心の確保に貢献しています。

南会津防犯協会連合会下郷町防犯連絡所連絡会・下郷町防犯協力会(下郷町)



下郷町防犯協力会は、芳賀優会長以下55名で構成され、小・中学校の登下校時の見守り・随行活動等を積極的に実施しています。当協力会では、初めての試みとして、県防連から借り受けた「青パト」による町内のイベント会場や周辺等の巡回活動を実施し、子供たちを犯罪から守るとともに、地域の安全と安心の確保に努めています。これからも安全で安心して暮らせる街づくりの一助となるよう活動を継続していききたいと思います。

いわき南地区防犯協会連合会 上中田防犯協会(いわき市)



上中田防犯協会は、昭和29年に発足し、「地域から犯罪を出さない。起こさせない。」を合い言葉に、地域住民への防犯訓練、子どもの登下校時の見守り活動、警察・消防団との合同夜間パトロール活動、街頭献血活動、なりすまし詐欺被害防止広報活動等の地域ぐるみの活動を実施し、安全で安心な街づくりに大きく貢献しています。

令和2年 全国地域安全運動・全国暴力追放運動

「ポスター・標語・青パト活動写真コンクール」

～ 作品募集中 ～

令和2年全国地域安全運動(10月11日～20日)・全国暴力追放運動に向けて、本年も地域安全ポスター・標語・青パト活動写真コンクールを実施します。

優秀作品は、公益財団法人全国防犯協会連合会・全国暴力追放運動推進センターが公募する全国審査の応募作として出品されるほか、県内の地域安全活動の広報資料等として広く活用されます。

1 課題

●ポスター・標語の課題

- 安全なインターネット社会の実現
～SNS、メールの安全な利用～
- 子供・女性の犯罪被害防止

●標語のみの課題

- 暴力団排除の徹底
～暴力団のいない街づくり

●青パト活動写真の課題

- 青色回転灯装備車の活動中の写真
- 2 応募区分
- 小学生の部
 - 中学生の部
 - 高校生・一般の部

3 締切 5月22日(金)

各地区防犯協会連合会事務局(各警察署)必着

※応募の詳細は、募集チラシ又は公益社団法人福島県防犯協会連合会のホームページ(<https://www.bouhanfukushima.com>)をご覧ください。

～多数の応募をお待ちしています～



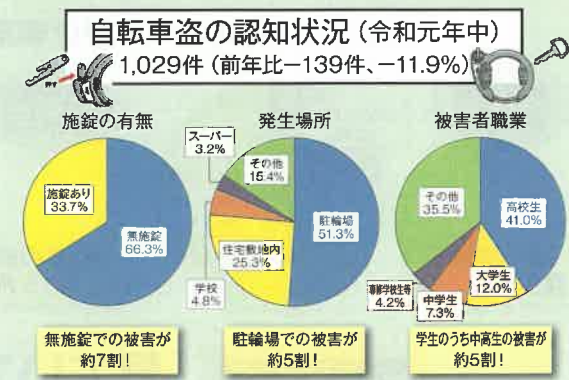
自転車の三重ロックを励行しましょう!

新入学・進級、そして就職シーズンとなり、真新しい自転車で軽快に学校や職場に向かう姿が多くなります。初めて自転車を利用する中・高校生もいると思いますが、自転車は盗難防止のため所定の駐輪場に止め、鍵は二重ロックにしましょう。

昨年、県内では自転車盗難が1,029件発生しましたが、**無施錠の状態での被害が約7割**、学生のうち**中・高校生の被害が約5割**となっています。

自分の使っている大切な自転車が盗難被害に遭うことは大変悲しいことで嫌な思いをします。自転車盗難に遭わないように必ず二重ロックをしましょう。

また、**自転車防犯登録**は、自転車の**盗難防止**や**被害の回復**に役立ちます。必ず、自転車防犯登録をしましょう。



令和元年 なりすまし詐欺 被害状況

令和元年		平成30年		増減	
件数	被害金額	件数	被害金額	件数	被害金額
104	17,496万	105	17,754万	-1	-258万

※福島県警察調べ

<令和元年の特徴>

- 高齢者(65歳以上)の被害が約8割
- 被害全体の50%(104件中52件)が
 - ・被害者をだまして**カードを交付**させる手口
 - ・被害者の隙を見て**カードを窃取**する手口
- 予兆電話が増加(3,823件+130件)し、特に**警察官や金融機関職員等をかたる電話**が大幅に増加(978件+600件)

<対策>

- だましのプロとは話さない
自宅にいても、常時、留守番電話にしておくことで、犯人からの電話に出なくて済みます。また、録音した会話を聞くことができるので、詐欺の電話に冷静に対処できます。
- 一人で悩まず、家族や警察にまず相談

<被害防止の格言>

- 「**キャッシュカードを預かります**」は、**詐欺!**
警察官や銀行協会の職員が電話で暗証番号を聞いたり、キャッシュカードを預かりに来ることはありません。
- 「**キャッシュカードと携帯電話を持ってATMに行け**」は、**詐欺!**
ATMを操作しても還付金は戻ってきません。

～みんなで協力して詐欺被害を防止しましょう～

車上ねらいに注意!!

昨年の暮れから、**県北、県中地区**を中心に**車上ねらい**が多発しています。また、昨年の県内の発生件数657件は前年を上回り、特にいわき方面では大幅に増加しました。

鍵を掛けていての被害が約5割、**アパートやマンション駐車場での被害が約4割**で最多となっています。



	県北	県中	県南	会津	いわき	相双
R1	108	169	46	50	237	47
H30	121	245	30	87	139	26
増減	-13	-76	16	-37	98	21

※福島県警察調べ

身近なところで犯罪が発生しています。ちょっとした注意で防ぐことができますので、次の防犯対策を実行しましょう。

<防犯対策>

- 車を離れる際は**短時間でも必ず施錠**する。
- 車内に**バッグ等を放置しない**。
- 明るく見通しの良い場所に駐車する。
- 駐車場に**防犯カメラや照明器具を設置**する。
- 車に**警報装置等**を設置する。

最優秀作品 (中学生の部)

安心・安全のプレゼント 福島市立松陵中学校2年 丹治 ひより

小学校に入学した時から一人で下校することが多く、怖がりの私は、変な人がいたり、熊が出るのではないかと、いつもビクビクしながら歩いて家まで帰って来ていました。

でも、私の通学路には家が並んでいて、お年寄りの方々が住んでいました。下校時には庭の手入れや、畑仕事をしている手を止めて「おかえり。」「こんにちは。」と、私を見掛けると声をかけてくれるお爺さんやお婆さんがいました。私も声を掛けられる度に挨拶をして言葉をかわしていました。近所の人から声をかけてもらうことで、皆に見守られているような安心感をもらい、家まで怖い思いをしないうで帰ることができました。

近所の人に「大きくなったね。」と誉めてもらったり、夏には、「暑いね。ちょっと待っててね。」と言われてアイスをもらえたりすると、いつもとってもうれしくて、声を掛けてくれるお爺さんやお婆さんとお話をすることが大好きでした。

しかし、最近は夫婦二人暮らしの家で、お爺さんが亡くなったりして、お婆さんが一人で暮らしている家何軒かあります。

「あそこの家のお爺ちゃん亡くなったよ。」と聞いた時に、もうお話できないんだと私はとても寂しく思いました。この前学校からの帰り道「何年生になったんだい?」とい

つも話し掛けてくれるお婆さんと私の事や私の姉、両親の事について色々聞かれ、長い時間立ち話をしました。その事について家に帰り母に話すと母が、「お爺さんが亡くなって一人であるから寂しかったんじゃないの。」と言いました。私は母と同じ事を考えていました。私と話をしている時お婆さんは、話し相手ができてとてもうれしそうで、この時、一人で暮らすのは寂しいだろうと思いました。

今までずっと小さい頃から声を掛けてもらっていたけど、これからは自分から声を掛けてお話ししようと思いました。少しでも、一人暮らしで寂しい思いや不安な気持ちをやわらげるお手伝いができるといいなと思いました。

私が大人になった時には、私がお爺さんやお婆さんに見守ってもらいながら、安心して学校から歩いて家に帰ってこることが出来た様に、近所の子どもたちに優しく声を掛けてあげられる様な人になりたいと思います。そして、安心や安全を子どもたちにプレゼントしてあげられる様に見守ってあげたいと思います。

